

## 「ひょうご森のまつり 2019」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林整備センター 神戸水源林整備事務所

「ひょうご森のまつり」は、森や緑が、生命の源泉である水を貯え、土砂災害を防ぎ、心や身体を癒すなど県民共通の財産であることを認識し、県民参加による森づくりを一層推進し、かけがえのない森林を次世代に引き継いでいくことをめざして、兵庫県などの主催により毎年開催されており、今年は11月9日（土）に「豊かな森から 川・海へと つながるめぐみ つながるいのち」をテーマとして、兵庫県立甲山森林公園（西宮市）で実施されました。

当日は好天に恵まれ、約5千人の来場者で大いに賑わいました。野外ステージでは、緑化作品コンクールや林業労働功労者の表彰、緑の少年団の宣誓、森林ボランティア団体の活動報告など行われたほか、会場内には各団体により体験、展示、販売、飲食等約50のブースが設けられ、来場者は、思い思いに秋の一日を楽しんでいました。

神戸水源林整備事務所のブースでは、パネル展示により水源林造成事業の仕組みや県内での事例等を紹介し、事業のPRを行うとともに、木の漢字の読み方クイズ、ドングリや松ぼっくりを使った工作体験を行いました。

漢字クイズでは、大人顔負けの正答率を誇る子供たちの挑戦があり、工作体験では、親子孫3代でそれぞれ創意工夫により素晴らしい芸術作品を仕上げるなど、終了時刻間際まで沢山の皆様に楽しんでいただきました。

当事務所では、今後もこのようなイベント等の機会を利用して、県民の皆様により広く水源林への理解を深めていただけるよう取り組んでまいります。



大人も子供も工作体験に夢中



フラワープリンセスも漢字クイズに挑戦！